

Title: in⇄out



鈴木 和博  
通山人間。受け流さない。受け止める！  
ちょっと素直になっ  
て帰ってきたいで  
す。

● 最近のエントリー

- 受け流さない、受け止める  
(2011.09.21)
- 世界のカタチ  
(2011.09.11)
- Minority, Stranger, Tourist  
(2011.09.10)
- 金ばまわらないなら 悪徳がベ  
ター  
(2011.09.07)

● アーカイブ

- 2011年09月
- 2011年08月
- 2011年07月
- 2011年06月
- 2011年05月
- 2011年04月
- 2011年03月

● 投稿カレンダー

● カテゴリー一覧

- インド
- カンボジア
- シンガポール
- タイ
- マニラ
- フリー：中国
- ベトナム
- マレーシア
- 中国
- 台湾
- 日本
- 韓国

● ブックマーク

学校法人 日本写真芸術専門学校  
NIPPON PHOTOGRAPHY INSTITUTE



rss 2.0

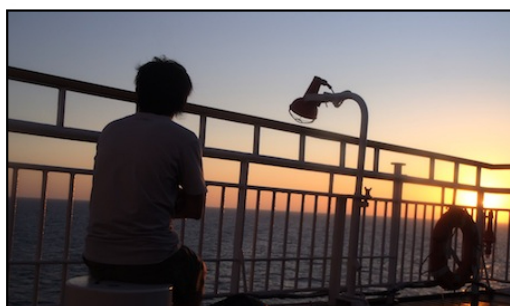
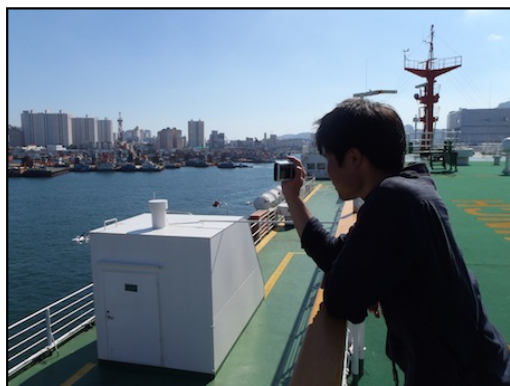
in⇄out > 2011年09月 アーカイブ

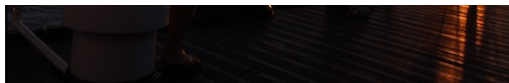
11.09.21

受け流さない、受け止める

[Tweet](#)

[Check](#)





無事に日本に帰国しました。

FW半年間を振り返って、思う事はたくさんあります。  
感謝も反省もたくさん。

そんな中、一番強く思うのは、半年間で自分が大きく変わるわけではないという事。  
そんなに簡単に変わるほど今まで生きてきた時間は短くない。  
もっと言ってしまうと、自分を変えたくて旅に出たわけじゃない。  
むしろ自分がいるべき場所を改めて確認する旅です。

欲しいものはもっつての真逆の位置にある目撃者。

でも、そんな自分になる為には自分は無知すぎる、ってことは痛いほどわかりました。  
写真的にも、人間的にも。

時間の経過と共に多くの記憶が薄れていき  
そのことはとても悲しいけれど  
半年間旅をして見た事、感じた事を  
しっかりと受け止めて、スズキの一部としたいと思います。

帰国して2日間は大阪で人と会ったりしていたのですが、  
「ただいま」と言うみんな、「おかえり」と言ってくれました。

言葉を返してくれる人がいるって素敵な事だなあ、と思いました。

FWに参加するにあたり、6期生を支えてくれたみなさまに心から感謝致します。  
本当にありがとうございました。

旅したら終わりではないので、これからも頑張ります。  
とりあえず現実から逃げない事から始めます。  
旅人からの社会復帰がんばるぞー！

カテゴリ: [日本](#)

post by 鈴木 和博 | 日時: 2011.09.21 | [ホームリンク](#) | [コメント \(2\)](#) | [トラックバック \(0\)](#)

[in@out](#) > 2011年09月 アーカイブ

11.09.11

## 世界のカタチ

[Tweet](#)

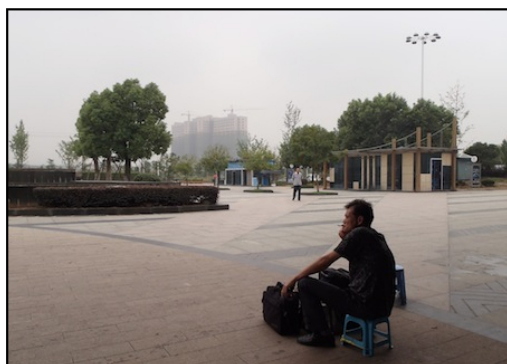
[Check](#)

こんにちは、鈴木です。  
上海に来ています。  
FWで訪れた都市の中でも1・2を争う都会だと思っています。

で、  
かの有名な茶会詐欺の手口の人にめっちゃ声をかけられます。  
1度や2度ではなく何回も、毎回別の人に。  
さすがに相手するのがメンドクサイので上海では写真を頼まれても撮ってあげない方針に。  
そんなに引っかけりそうに見えるんですけどねー。  
これだけ人を信用しない人間もいないと思うんですけどねー。

上海を旅される方はご注意くださいませ。

では、上海編のブログいってみよー。



諸壁から上海まではバスで3時間。  
上海南バスターミナルに着きます。  
上海南バスターミナルは鉄道・地下鉄の上海南駅の近くにあるので中心部への移動も楽々です。

ちなみに上海の地下鉄はちゃんと距離によって値段が違います。  
北京は一律2元だったのにね。

上海はタクシーの値段も高めです。  
諸壁は初乗り5元、北京は10元、上海は13元です。  
さすが中国最大の経済都市です。





中国の伝統的な行事の一つに中秋節というものがあります。  
これは旧暦8月15日に当たる日に行われ、家族で月見をしながら過ごすのだそうです。  
日本にも似た風習はありますね。

2011年は9月12日がその中秋節に当たります。  
中秋節は中国の祝日だそうです。  
なんと幸か不幸か明日！  
僕は見事に中国にいます。

そして中国の中秋節になくはないものが月餅です。  
上海を歩いても月餅屋さんには長蛇の列！3時間待ちも珍しくないみたいです。  
日本のディズニーランドでもそこまでは待つまいに。

これは自分たちで食べるというよりも頼しい人達に贈る為に置っているのだそうです。

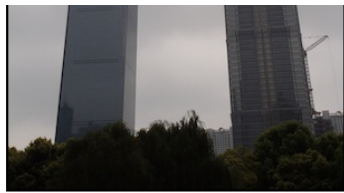


中秋節が近いからか、なにやらイベントをやっていました。



上海は南京路というのがメインストリートになるのですが、近くの路地には市場もあります。





左/上海環球金融中心（SWFC） 右/金茂大廈

展望台があるのですが、ここ数日上海の天気はあまりよくないのでまだ行ってません。



小林さんも書いていましたが上海といえばここ、外灘。

東方明珠塔はやっぱりシンボリックです。  
存在感があります。

東方明珠・・・  
ピンインで書くと・・・ Dōngfāng Míngzhū tǎ  
日本の黒しきカタカナ表記で書くと・・・ドンファンミンジューター

ドンファンミンジューター・・・どんふんみんじゅーたー・・・

・・・なんが響きが気に入りました。

他にも、写真はないけど雑技団も見に行きました。  
火鍋も食べました。一人で寂しく。

スタバでたまたま上海の方と話す機会があって  
「媽媽騎馬，馬機，媽媽馬馬」  
っていう発声練習をしました。  
中国語習った事ある人はやった事あると思います。

人民公園では婚活マーケットも見ました。  
写真撮ると怒られました。  
個人情報だし、そりゃそうだね。

婚活マーケットはいろいろ書きたいんだけど長くなるのでやめておきます。  
中国は中国で結婚する為にいろいろなハードルがあるようです。主に経済面で、  
でも親に結婚相手探してもらいたくないなーってのが正直な感想でした。

撮影も明日がラスト。  
□少しでも上海を楽しめます！

11.09.10

## Minority, Stranger, Tourist

[Tweet](#)

[Check](#)

こんにちは、鈴木です。  
北京の次は浙江省の諸暨市というところに行ってきました。

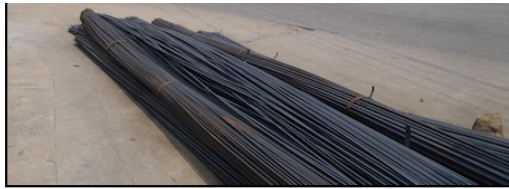


この街の名前知ってる人いますかね？  
あまり聞かない場所だと思います。  
車で数時間の所には上海・杭州・紹興などの有名な都市があるのでそっちに行くのが一般的です。

諸暨市は春秋戦国時代の越の都。  
そして越国の美女・西施の故郷として知られています。

越王勾践と呉王夫差の闘いの中で登場するのが西施です。  
夫差は西施の美しさの虜となり呉は滅んだとされています。  
漢文の授業とかでやった話があります。  
高校とか懐かしいですね・・・もはや越が昔の記憶・・・





ここに来た目的はいろいろあったのですが、どれも空振りに終わりました。  
現場で期待を裏切られてからどう動くかが大事、ってのは1年生の時から言われ続けて来た事ですが、そこどころが全然できませんでした。  
言葉の壁で苦戦する事も多く、伝える事も理解する事もできないってのはつらいな~と思いました。



言葉が通じなくとも行動の幅と撮影の幅に直結するんだなーと、  
行けば何とかなる、それは確かに言える事だしなんとがするものでもあります。  
でも撮影はまた話が別です。

言葉の壁はそのまま行動の幅と撮影の幅に直結するんだなーと、  
あまり観光客が行かないような所でカメラもって歩いてるとわりと声をかけられるんです  
が、何を言ってるのかわからない。悪意がないのは雰囲気的にわかるけど、単純ずらま  
ならない。  
ここでコミュニケーションが取れば旅も撮影も深いものになるんだろうなと思う瞬間は  
多々ありました。

語学どころかという知識的なものもそうだし、それ以上にコミュニケーション力というも  
のが足りないんだなと実感。  
日本にいる時からそうなんですけどね。

書いてる事が暗めに感じるかもしれませんが、すいません。  
そんなつもりはさらさらないのですがね。



諸壁での移動は路線バスがタクシーがメインでした。

1度だけタクシーを使った時がちょうどお昼時。  
ドライバーに「あたしご飯食べるんだけど、食べる？」みたいな事を中国語で言われ、お  
断返ってたし行く事になりました。  
その時はお店に入るものだとばかり思ってたんですが、まさかの自宅という展開。  
家庭料理をごちそうになりました。

ちなみにドライバーさんは一番右の女性の方です。  
左が旦那さんでこの日たまたま仕事が休み（だから料理は彼の手作り）。  
真ん中が息子さんです。

ついでに上海に行く方法を聞いたのですが、僕は中国語話せないし言葉も聞き取れない。  
英語は全く通じない。

となれば単純なことになるわけですが、単純でも言われてる事がわからない。  
中国を旅してて単純で相手の言ってる事がわかったのは全体の5%くらいだと思います。  
しかも「あー、なんとなくこういことが」ってくらい曖昧な理解です。

最終的にどうしたかというと、パソコンで中英翻訳サイトを使って意思疎通しました。  
相手が中国語を打つ→英語に変換される→僕が英語で聞きたい事を打つ→中国語に変換される  
・・・って感じで。

何が言いたかったかというと、こんな言葉も喋れない小僧相手にご飯を食わせてくれてパソコンを使ってまで親切にしてくれて、さらにはお土産にジュースやりんごまでくれた事が嬉しかったって事です。  
同時にもどかしさもあったのですが。

しかもホテルじゃなくて家に泊まれば良いじゃない、とまで言ってくれました。  
さすがにそれはいろいろ問題があるのでお断りしましたが、FW中じゃなければ泊まりかたってというのが本音です。

ヤバイね、今回のブログめっちゃまとまりないね！  
まあ、いつもの事が！！  
とにかくフリー期間はホントに悔しい事ばかりです。  
日々何かを感じられるってのは良い事だけだね。  
撮影も頑張れよって感じだけだね。あはは。

長いのに読んでくれた方ありがとうございます。

次回のブログは上海編です！  
ではまた！！

post by 鈴木 和博 | 日時: 2011.09.10 | [バーマリンク](#) | [コメント\(4\)](#) | [トラックバック\(0\)](#)

カテゴリ: [フリー:中国](#)

[in@out](#) > 2011年09月 アーカイブ

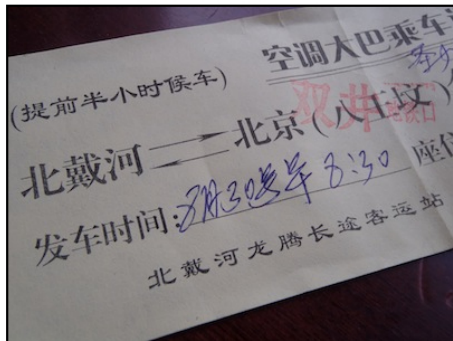
11.09.07

## 食べきれないなら麺類がベター

[Tweet](#)

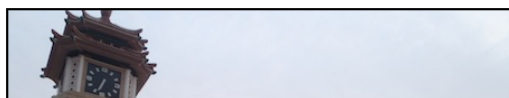
[Check](#)

こんにちは、鈴木です。  
わざわざではありますが北京での事を書きたいと思います。



北戴河から北京へのバスが出ていたのでチケットを購入（110元）。  
北京の地下鉄10号線終点である勁松駅まで行けます。

バスではまさかの一番後ろ（あのち人がけの席）に中国人のおじさま方と座るというむさ  
苦しい窮屈極まりない状態になりました。肌と肌がつつきすぎ。  
4時間程で到着しましたが車内は終始食べ物のニオイで気持ち悪かったです。  
さすが中国です。







1ヶ月ぶりの北京。  
1ヶ月前はやっていなかった工事を天安門でしていました。  
夏休みが終わったからですね。

わざわざこの街に戻ってきたからにはちょっとでも前回より北京の街と触れ合って帰りたい、と思っはいたものの、結果としては・・・って感じです。

ヘタレな自分は半年経ってもヘタレなまま。

ダメだダメだと思いつつも、時間ばかりが過ぎて行く。

それでも北京中心部では感じる事のできない部分を少し感じられる場所にも出会いました。  
それは地下鉄で移動できる範囲にある場所でしたが、少し町中を離れるだけで全然違う景色になってしまうんだなと思いました。

やっぱり北京オリンピックは北京の街並、そして中国の流れを変える大きなきっかけであったのだと思います。  
上海万博もまた、その流れの一つだったのかもしれない。

中国を撮っているのに、中国の事を全然知らなすぎて、何がどういう意味を持っているのかも把握しきれていないのが現状の自分です。

そんな事を考えさせられる北京滞在でした。

あ、でも相変わらず飯は上手いです。  
中華料理万歳！

カテゴリ: [フリー:中国](#)

post by 鈴木 和博 | 日時: 2011.09.07 | [バナーリンク](#) | [コメント \(4\)](#) | [トラックバック \(0\)](#)